

令和8年度当初予算

一般会計1.1%増の712億円

令和8年度予算案が3月定例市議会で可決されました。予算の概要や主な使い道などについてお知らせします(1万円未満を四捨五入しているため、合計と内訳が一致しない箇所があります)。

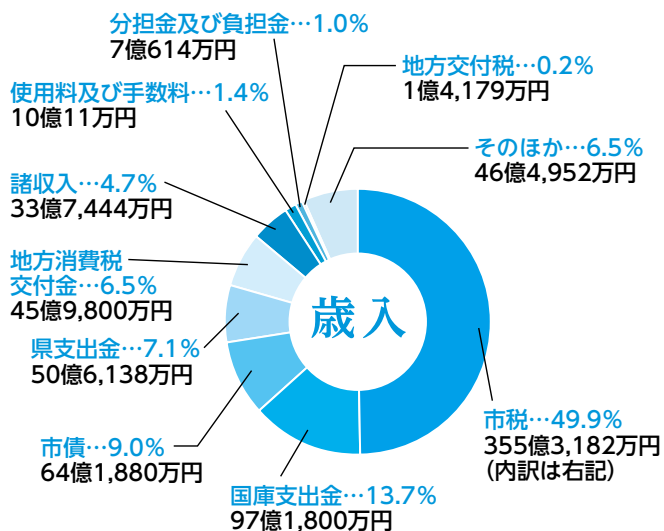
本市の財政は、空港関連税収を背景として、全国有数の財政力を堅持しており、歳入面では、個人所得の伸びや企業業績の回復などにより、引き続き順調な増収が見込まれます。

今年度予算の編成では、本市が将来にわたり持続的に発展していくため、「成田空港第2の開港プロジェクト」に対応した基盤整備をはじめ、全ての子どもが幸福に生活を送ることができる「こともまんなか社会」や、お互いを思いやりかつ尊重し、多様性を認め支え合う共生社会の実現に積極的に取り組むとともに、医療・福祉・防災・減災対策のさらなる充実、脱炭素社会の実現やDXの推進などの社会的要請の高い行政課題にも的確に対応し、市民の皆さんに共感してもらえるまちづくりに向け、スピード感を持って各種施策に取り組みため、限られた財源を重点的かつ効率的に配分しました。

一般会計は712億円で、前年度と比較すると、8億円(1.1%)の増額。特別会計と水道事業会計などを合わせた予算総額は、1,073億8,824万円で、前年度と比較すると24億8,490万円(2.4%)の増額となっています。

一般会計歳入

712億円



市税(全体の49.9%)は355億3,182万円で、前年度比12億3,721万円の増収となっています。国庫支出金(同13.7%)は97億1,800万円となり、5億932万円の増額。市債(同9.0%)は64億1,880万円で、13億4,780万円の減額となっています。

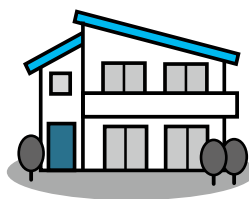
市民1人が納める市税は約27万円です

市民の皆さんが今年度に納める予定の市税の内訳は、右記の通りです。

これを市民1人当たりに換算すると約27万円となります。

$$\frac{\text{市税予算額 } 355\text{億}3,182\text{万円}}{\text{令和8年2月末日現在人口 } 13\text{万}3,012\text{人}} = \text{約}27\text{万円}$$

市税の内訳



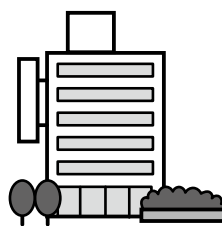
固定資産税

212億1,695万円(59.7%)



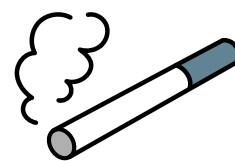
個人市民税

98億3,153万円(27.7%)



法人市民税

26億1,173万円(7.4%)



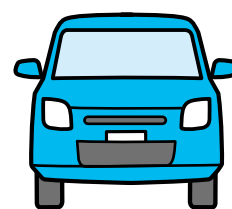
市たばこ税

12億4,328万円(3.5%)



都市計画税

2億2,751万円(0.6%)



そのほか(軽自動車税など)

4億82万円(1.1%)

特別会計

256億3,384万円

特別会計とは、特定事業を行う場合に、一般会計と区分して経理する必要のある時に設ける会計です。市では、次の5会計を設けています。

国民健康保険(事業勘定)

130億7,039万円

被保険者の疾病、負傷、出産、死亡などに対し、必要な保険給付を行います。

国民健康保険(施設勘定)

1億2,810万円

医療サービスの向上を図るため、国保大栄診療所で被保険者などに対し、診療を行います。

公設地方卸売市場

8億9,452万円

青果物、水産物、生鮮食品などを安定した価格で供給し、市民生活の向

上を図ります。また、農水産物の輸出促進を行います。

介護保険

94億4,492万円

被保険者の要介護度などに応じて、必要な保険給付を行います。

後期高齢者医療

20億9,590万円

後期高齢者医療制度加入者の保険料徴収や資格の管理などを行います。

地方公営企業会計

105億5,440万円

地方公営企業会計とは、地方公共団体が経営する公益的な事業を行うために設けられた会計です。市では、次の4会計を設けています。(各会計とも収益的支出と資本的支出を合計した額)

水道事業

39億5,966万円

水道施設を整備し、安全で安心な水の安定供給を行います。

簡易水道事業

5億3,957万円

水道施設を整備し、下総・大栄地区の一部への安全で安心な水の安定供給を行います。

下水道事業

57億2,055万円

都市排水施設を整備を行い、生活環境の改善や公衆衛生の向上、浸水の防除を図ります。

農業集落排水事業

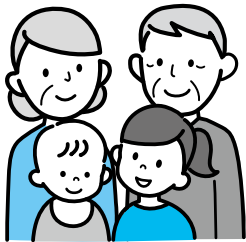
3億3,463万円

下総・大栄地区の農業集落における排水施設を維持・管理し、生活環境の改善を図ります。

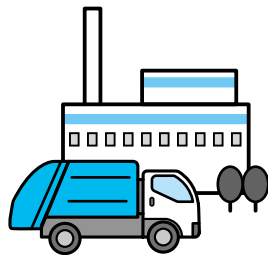


成田市場で新鮮な食材を買い求める

市民1人当たりに使われる歳出の内訳



民生費 18.6万円



衛生費 7.8万円



総務費 7.1万円



教育費 6.1万円

公債費 4.0万円

土木費 3.7万円

消防費 2.5万円

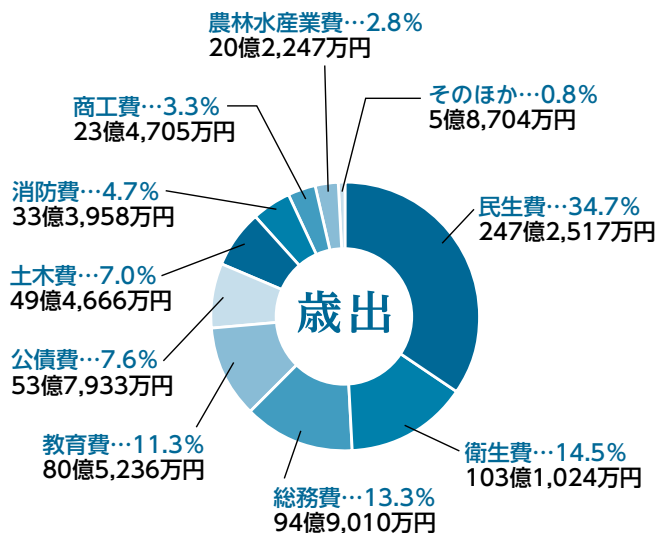
商工費 1.8万円

農林水産業費 1.5万円

そのほか 0.4万円

一般会計歳出

712億円



歳出の目的別分類では、民生費が前年度比15億120万円増の247億2,517万円(全体の34.7%)で最も多くなっていて、私立保育園等運営委託事業、児童手当支給事業、生活保護扶助費などに充てられます。2番目は衛生費で、前年度比3億7,649万円増の103億1,024万円(同14.5%)となっていて、リサイクルプラザ維持管理運営事業、ごみ収集事業、新清掃工場関連付帯施設整備事業などに充てられます。3番目は総務費で、前年度比10億9,869万円減の94億9,010万円(同13.3%)となっていて、民家防音家屋等維持管理費補助事業、急傾斜地崩壊対策事業、運動公園等管理事業などに充てられます。

市民1人当たり約54万円が使われます

今年度、市民の皆さんに使われる予定の歳出の内訳は左記の通りです。市民1人当たり約54万円となります。

$$\frac{\text{一般会計予算額 } 712\text{億円}}{\text{令和8年2月末日現在人口 } 13\text{万}3,012\text{人}} = \text{約}54\text{万円}$$